

群馬県の気象概況

2019年

(平成31年、令和元年)

2019年（平成31年、令和元年）の日本の天候	1
2019年（平成31年、令和元年）の群馬県の天候	2
前橋地方気象台気象表	4
気象分布図	5
気象経過図	7
前橋の生物季節観測表	10
前橋の極値順位更新表	12
前橋の季節観測表	14
群馬県における主な気象災害	15
情報の閲覧・検索のご案内	18
資料の見方	19

令和2年3月

前橋地方気象台

2019 年（平成 31 年、令和元年）の日本の天候

2019 年は、全国的に気温の高い状態が続き、低温は一時的でした。特に冬の沖縄・奄美、秋の東・西日本は、季節平均気温が 1946 年の統計開始以来、最も高くなりました。このため、年平均気温は全国的にかなり高く、東日本では平年差+1.1℃と 1946 年の統計開始以来、2018 年と並び最も高くなりました。また、夏から秋にかけては、前線や台風、低気圧の影響で記録的な大雨となったところがありました。9 月は台風第 15 号の影響により千葉県を中心に記録的な暴風となり、10 月は、台風第 19 号の影響により、東日本から東北地方にかけて記録的な大雨となり、広い範囲で河川の氾濫が相次ぐなど、大きな被害が発生しました。全国のアメダスの日降水量 400mm 以上の年間日数は 47 日で、1976 年の統計開始以来 2011 年に次いで 2 番目に多くなりました。

- ・冬の日本の天候は、北からの寒気の影響が弱く、東日本以西では冬の平均気温がかなり高くなりました。日本海側の冬の降雪量はかなり少なく、特に、西日本日本海側の冬の降雪量は平年比 7%となり、冬の降雪量として最も少なくなりました（統計開始は 1961/62 年冬）
- ・春の日本の天候は、北・東・西日本では、期間を通して高気圧に覆われる日が多く、春の日照時間はかなり多くなりました。北・東・西日本日本海側と北日本太平洋側では、1946 年の統計開始以来、春の日照時間として最も多くなりました（西日本日本海側は 1 位タイ）。また、春の降水量は北日本日本海側でかなり少なくなりました。全国的に、晴れて強い日射の影響を受けたことや、暖かい空気が流れ込みやすかったため、春の平均気温は北・西日本と沖縄・奄美でかなり高く、東日本で高くなりました。
- ・夏の日本の天候は、梅雨前線の北上が平年より遅かったため、梅雨明けは平年より遅れた地方が多く、7 月は東・西日本を中心に気温が低く、日照時間が少なくなりました。7 月末から 8 月前半にかけては、東日本を中心に太平洋高気圧に覆われて晴れて厳しい暑さが続き、夏の平均気温は北・東日本と沖縄・奄美で高くなりました。西日本では、前線や台風の影響により、たびたび大雨となり、特に、九州南部では 7 月に、九州北部地方では 7 月と 8 月に、それぞれ記録的な大雨となり、土砂災害や河川の氾濫など大きな被害が発生しました。また、西日本太平洋側では夏の降水量はかなり多くなりました。
- ・秋の日本の天候は、全国的に暖かい高気圧に覆われやすかったため、気温が高くなりました。特に南から暖かい空気が流れ込みやすかった東・西日本の気温は、1946 年の統計開始以来、秋の平均気温として最も高くなりました。また、秋の日照時間は北・東・西日本で多くなりました。9 月上旬は、台風第 15 号の影響で、東日本太平洋側を中心に大雨や記録的な暴風となり、千葉県などで大きな被害が発生しました。10 月中旬は、台風第 19 号の影響で、東日本から東北地方の広い範囲で記録的な大雨となり、河川の氾濫が相次ぐなど、大きな被害が発生しました。10 月下旬には、低気圧の影響で、関東甲信地方や東北地方で再び大雨となり、河川の氾濫や土砂崩れなど大きな被害が発生しました。

2019 年(平成 31 年、令和元年)の群馬県の天候

梅雨の期間は一時的に低温となりましたが、冬はエルニーニョ現象の影響で暖冬となり、春と秋は暖かい空気に覆われやすく、前橋の年平均気温は 15.7℃と平年より 1.1℃高く、1897 年の統計開始以来、2 番目に高くなりました。また、年降水量は平年より多く、年間日照時間も多くなりました。

10 月 12 日から 10 月 13 日にかけては台風第 19 号(令和元年東日本台風)により記録的な大雨となり、土砂崩れや河川の氾濫が発生するなど甚大な被害が発生しました。気象台では 12 日に県内の 26 市町村に平成 25 年 8 月 30 日の運用開始から初めてとなる大雨特別警報を発表しました。

- ・冬(2018 年 12 月～2 月)は、1 月は冬型の気圧配置となる日が多くなりましたが、それ以外は、冬型の気圧配置は長続きせず、天気は数日の周期で変化しました。このため寒気の南下は弱く、暖かい空気に覆われやすかったため、気温はかなり高くなりました。
- ・春(3 月～5 月)は、天気は数日の周期で変化し、高気圧に覆われて晴れた日が多くなりました。このため気温はかなり高く、日照時間はかなり多くなりました。
- ・夏(6 月～8 月)は、8 月前半は太平洋高気圧に覆われて厳しい暑さの日が続きましたが、それ以外は、太平洋高気圧の本州への張り出しは弱く、前線が南海上に停滞することが多かったため、降水量は多く、日照時間は少なくなりました。
- ・秋(9 月～11 月)は、天気は数日の周期で変化し、高気圧に覆われて晴れた日が多くなりましたが、台風第 19 号の影響や、南からの暖かい空気が入りやすかったため、気温はかなり高く、降水量はかなり多くなりました。
- ・12 月は、低気圧や前線が日本の南と北日本を通過し、天気は数日の周期で変わったため、日照時間はかなり少なくなりました。

1 月ごとの概況

1 月：冬型の気圧配置となって、北部の山地では曇りや雪の日が多くなった一方、低気圧や湿った空気の影響を受けにくかったため、その他の地域は晴れた日が多くなりました。県内の気温は【平年並】から【高い】、降水量は【かなり少ない】から【多い】、日照時間は【少ない】から【かなり多い】、北部の最深積雪は【多い】となりました。

2 月：冬型の気圧配置は長続きせず、天気は数日の周期で変化しました。低気圧が本州付近を通過し、雨や雪が降った日がありましたが、その他は高気圧に覆われて晴れた日が多くなりました。県内の気温は【高い】から【かなり高い】、降水量は【かなり少ない】から【平年並】、日照時間は【少ない】から【かなり多い】、北部の最深積雪は【少ない】となりました。

3 月：数日の周期で高気圧と低気圧が交互に通過し、天気は数日の周期で変化しましたが、中旬を中心に高気圧に覆われたため、晴れた日が多くなりました。県内の気温は【高い】から【かなり高い】、降水量は【少ない】から【多い】、日照時間は【平

年並】から【かなり多い】、北部の最深積雪は【かなり少ない】から【少ない】となりました。

4月：数日の周期で高気圧と低気圧が交互に通過しましたが、下旬からは上空の寒気や動きの遅い低気圧の影響もあり、雨の降る日が多くなりました。県内の気温は【低い】から【平年並】、降水量は【少ない】から【多い】、日照時間は【平年並】から【多い】、北部の最深積雪は【少ない】から【平年並】となりました。

5月：天気は数日の周期で変化しましたが、高気圧に覆われて晴れた日が多くなりました。県内の気温は【高い】から【かなり高い】、降水量は【かなり少ない】から【平年並】、日照時間は【かなり多い】となりました。

6月：天気は数日の周期で変化しましたが、月の初めと中旬は高気圧に覆われて晴れた日が多くなりました。関東甲信地方は6月7日ごろに梅雨入りしました(平年の梅雨入り6月8日ごろ、昨年の梅雨入り6月6日ごろ)。中旬から下旬は上空の寒気の影響や前線の影響で雨や雷雨となった日がありました。22日は前橋市、桐生市などで局地的に大雨となりました。県内の平均気温は【低い】から【平年並】、降水量は【多い】から【かなり多い】、日照時間は【かなり少ない】から【多い】となりました。

7月：天気は中旬までは日本の南岸に停滞する梅雨前線や上空の気圧の谷の影響で曇りや雨の降った日が多くなりました。下旬は旬の初めに梅雨前線が北上して暖かく湿った空気が流れ込み、寒気を伴った上空の気圧の谷や日中の昇温等の影響で大気の状態が不安定となって、局地的に大雨となりました。関東甲信地方は7月24日ごろに梅雨明けしました(平年の梅雨明け7月21日ごろ、昨年の梅雨明け6月29日ごろ)。県内の平均気温は【低い】から【平年並】、降水量は【少ない】から【多い】、日照時間は【かなり少ない】から【少ない】となりました。

8月：月の前半を中心に高気圧に覆われて晴れて厳しい暑さの日が続きましたが、月の後半は前線や湿った空気の影響で曇りや雨の日が多くなりました。また、湿った空気や気圧の谷等の影響で大気の状態が不安定となり、所々で雨や雷雨となりました。県内の平均気温は【高い】から【かなり高い】、降水量は【少ない】から【多い】、日照時間は【平年並】から【多い】となりました。

9月：高気圧と低気圧が交互に通過し天気は数日の周期で変わり、下旬のはじめ頃までは秋雨前線の影響で曇りや雨の日がありました。9日から11日と下旬のはじめ頃は台風の影響も加わり広い範囲で雨が降りました。移動性高気圧に覆われて晴れた日も多くなりましたが、中旬からは上空の寒気や湿った空気の影響で雨の降った日もありました。県内の平均気温は【高い】から【かなり高い】、降水量は【かなり少ない】から【少ない】、日照時間は【平年並】から【かなり多い】となりました。

10月：上旬は高気圧に覆われて晴れた日もあり、日照時間が平年よりもかなり多くなりましたが、中旬からは台風や低気圧の影響で雨の降った日が多くなりました。台風第19号の影響で記録的な大雨となり、気象台では12日に県内の26市町村に平成25年

8月30日の運用開始から初めて大雨特別警報を発表しました。下旬は台風第20号から変わった低気圧や、低気圧と台風第21号からの湿った空気の影響で広い範囲で雨が降り、25日は広い範囲で大雨となりました。県内の平均気温は【かなり高い】、降水量は【かなり多い】、日照時間は【少ない】から【平年並】となりました。

11月：上旬から中旬は数日の周期で高気圧と低気圧が交互に通過し、高気圧に覆われて晴れた日が多くなりましたが、一時的に西高東低の気圧配置となり、寒気の影響で雲が広がり、雨や雪が降った所がありました。下旬は日本の南海上を通過した低気圧や前線の影響で広い範囲で雨が降り、大雨となった所がありました。県内の平均気温は【平年並】から【高い】、降水量は【かなり少ない】から【多い】、日照時間は【平年並】から【かなり多い】、北部の最深積雪は【多い】から【かなり多い】となりました。

12月：低気圧や前線が日本の南と北日本を通過したため、天気は数日の周期で変わりました。また、冬型の気圧配置が長続きしなかったため、利根・沼田地域の最深積雪は平年よりかなり少なくなりました。県内の平均気温は【平年並】から【かなり高い】、降水量は【少ない】から【多い】、日照時間は【かなり少ない】から【多い】、北部の最深積雪は【かなり少ない】から【多い】となりました。

【 】：階級区分

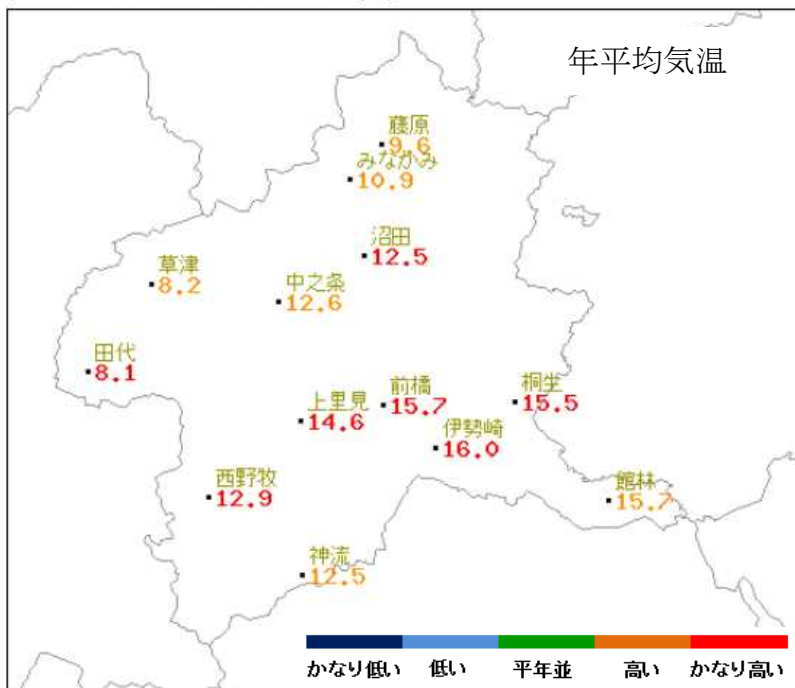
2 前橋地方気象台気象表（平均気温・降水量・日照時間の平年との比較）

月	平均気温			降水量			日照時間		
	値 (°C)	平年差 (°C)	階級区分	値 (mm)	平年比 (%)	階級区分	値 (h)	平年比 (%)	階級区分
1	4.0	+0.5	高い	0.5	2	少ない	235.5	112	かなり多い
2	5.8	+1.8	かなり高い	5.0	16	少ない	190.2)	98	平年並
3	9.0	+1.7	かなり高い	70.5	115	多い	221.9	108	多い
4	12.8	-0.4	平年並	67.5	86	平年並	217.4	109	多い
5	20.2	+2.2	かなり高い	59.0	58	少ない	263.1	137	かなり多い
6	21.7	+0.2	平年並	202.0	139	多い	144.5	109	多い
7	24.3	-0.8	低い	287.0	145	多い	72.8	52	少ない
8	28.4	+2.0	かなり高い	179.0	88	平年並	189.2	115	多い
9	24.6	+2.2	かなり高い	75.5	34	かなり少ない	156.7	124	多い
10	18.9	+2.4	かなり高い	432.5	374	かなり多い	134.1	83	少ない
11	11.8	+1.0	高い	50.5	113	平年並	197.9	110	多い
12	7.0	+1.0	高い	18.5	80	平年並	167.6)	82	かなり少ない
年	15.7	+1.1	かなり高い	1447.5	116	多い	2190.9	104	多い

注) 「) 」は一部に欠測期間がある準正常値です。

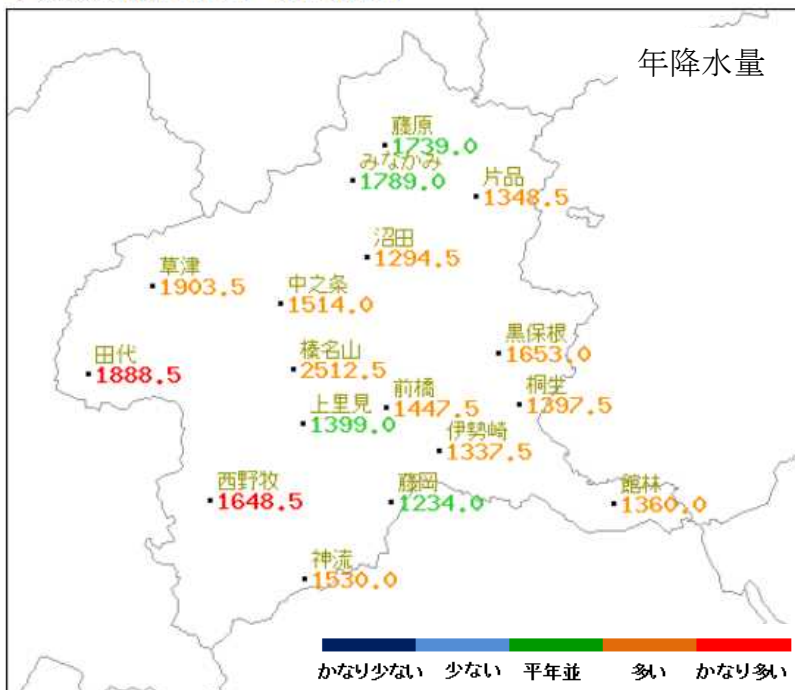
気象分布図

アメダス年別値 2019年 平均気温(℃)



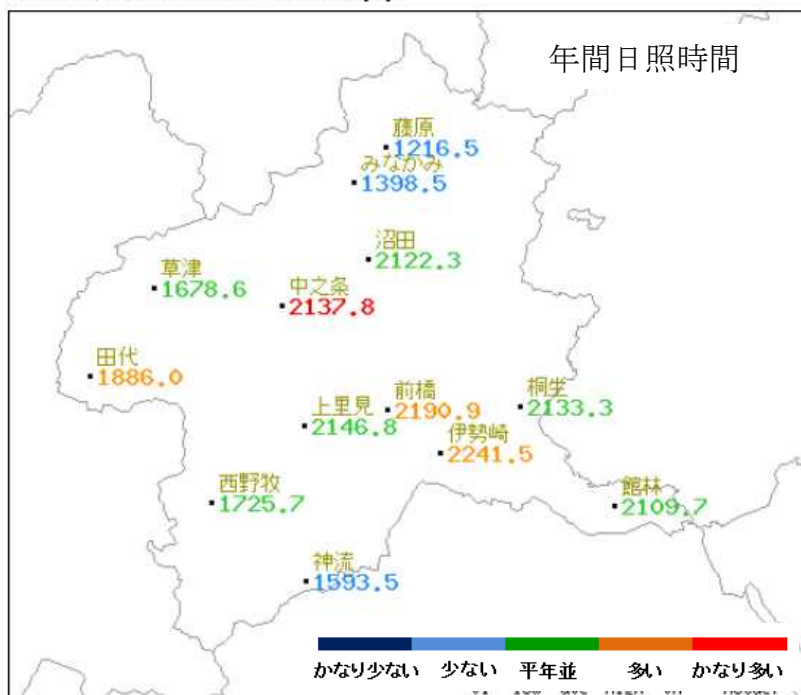
地点名	実況値	平年値	平年差	記号	統計値区分
藤原	9.6	8.9	+0.7	D	正常値
みなかみ	10.9	10.3	+0.6	--	現象なし
草津	8.2	7.4	+0.8	D)	準正常値
沼田	12.5	11.6	+0.9	D]	資料不足値
中之条	12.6	11.9	+0.7	X	欠測
田代	8.1	7.2	+0.9	//	平年値なし
前橋	15.7	14.6	+1.1		
桐生	15.5	14.3	+1.2		
上里見	14.6	13.6	+1.0		
伊勢崎	16.0	15.3	+0.7		
西野牧	12.9	12.0	+0.9		
館林	15.7	14.9	+0.8		
神流	12.5	11.9	+0.6		

アメダス年別値 2019年 降水量(mm)



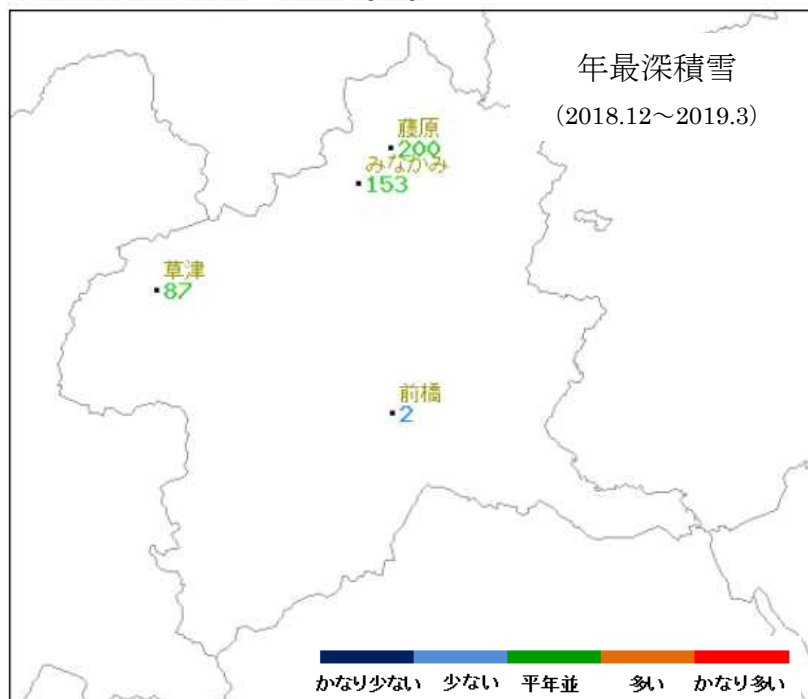
地点名	実況値	平年値	平年比(%)	記号	統計値区分
藤原	1739.0	1851.3	94	D	正常値
みなかみ	1789.0	1733.7	103	--	現象なし
片品	1348.5	1201.7	112	D)	準正常値
草津	1903.5	1728.7	110	D]	資料不足値
沼田	1294.5	1124.9	115	X	欠測
中之条	1514.0	1290.8	117	//	平年値なし
田代	1888.5	1506.6	125		
榛名山	2512.5	2096.7	120		
前橋	1447.5	1248.5	116		
黒保根	1653.0	1458.5	113		
桐生	1397.5	1243.9	112		
上里見	1399.0	1374.0	102		
伊勢崎	1337.5	1205.2	111		
西野牧	1648.5	1274.1	129		
藤岡	1234.0	1137.2	109		
館林	1360.0	1184.6	115		
神流	1530.0	1238.4	124		

アメダス年別値 2019年 日照時間(h)



地点名	実況値	平年値	平年比(%)	記号	統計値区分
藤原	1216.5	1279.5	95	D	正常値
みなかみ	1398.5	1471.7	95	--	現象なし
草津	1678.6	1659.7	101	D)	準正常値
沼田	2122.3	2093.4	101	D]	資料不足値
中之条	2137.8	1765.9	121	X	欠測
田代	1886.0	1832.2	103	//	平年値なし
前橋	2190.9	2110.9	104		
桐生	2133.3	2054.9	104		
上里見	2146.8	2070.8	104		
伊勢崎	2241.5	2107.3	106		
西野牧	1725.7	1738.0	99		
館林	2109.7	2035.0	104		
神流	1593.5	1712.3	93		

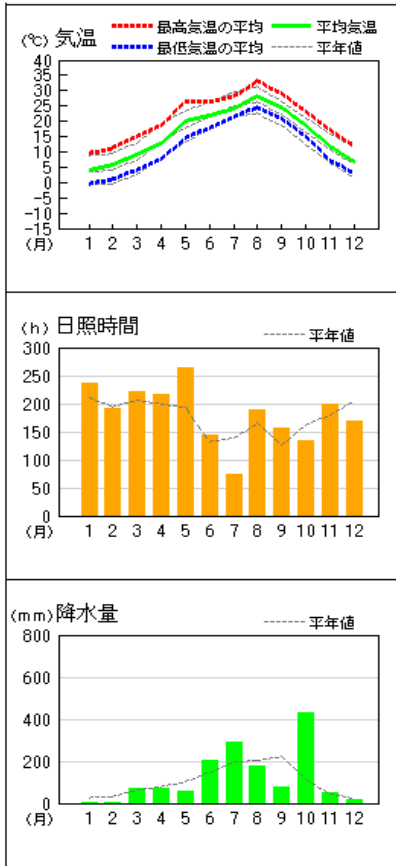
アメダス年別値 2019年 最深積雪(cm)



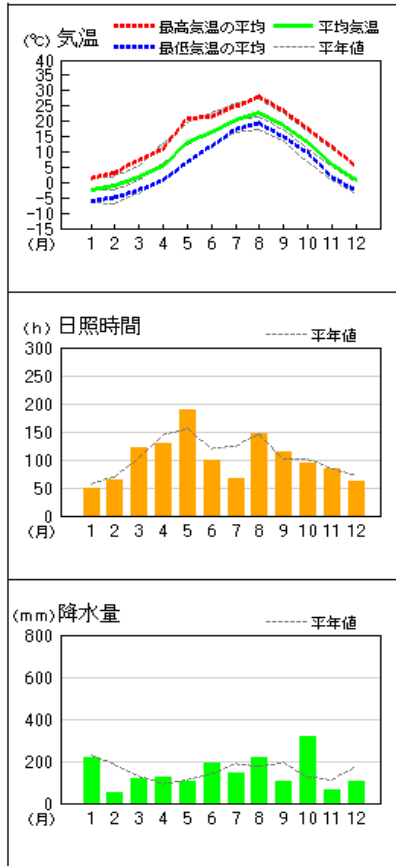
地点名	実況値	平年値	平年比(%)	記号	統計値区分
藤原	200	209	96	D	正常値
みなかみ	153	154	99	--	現象なし
草津	87	98	89	D)	準正常値
前橋	2	10	20	D]	資料不足値
				X	欠測
				//	平年値なし

気象経過図

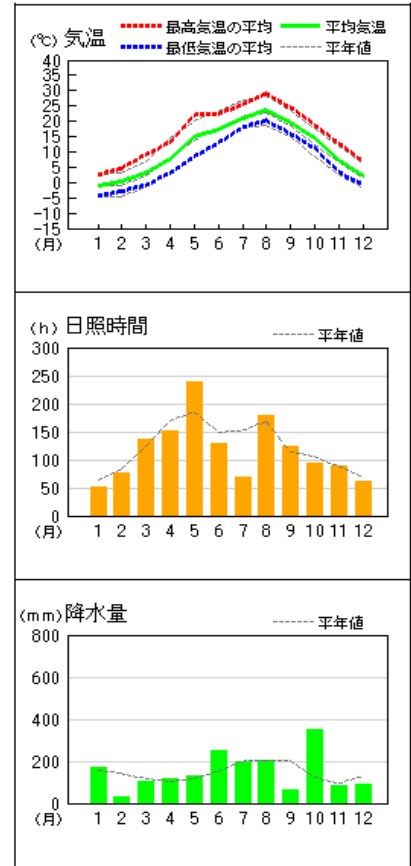
前橋



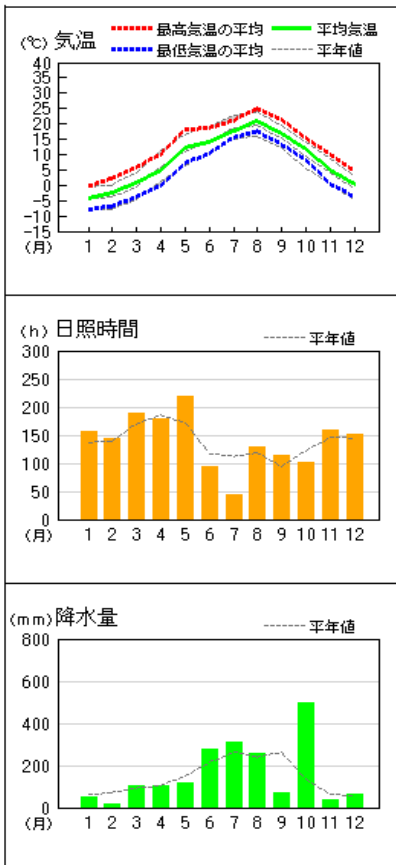
藤原



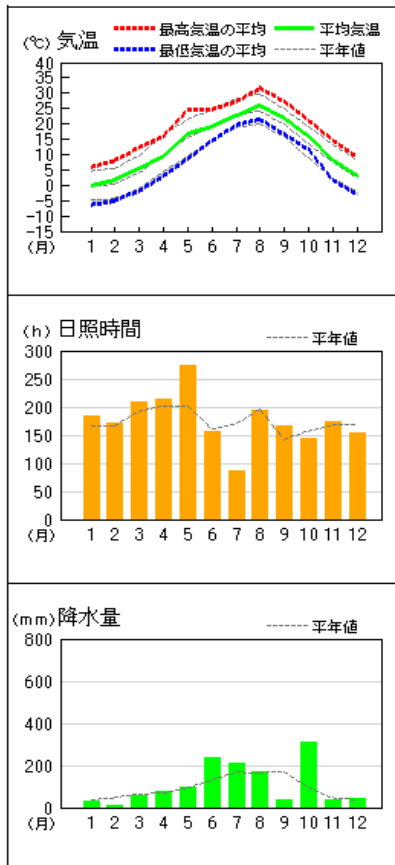
みなかみ



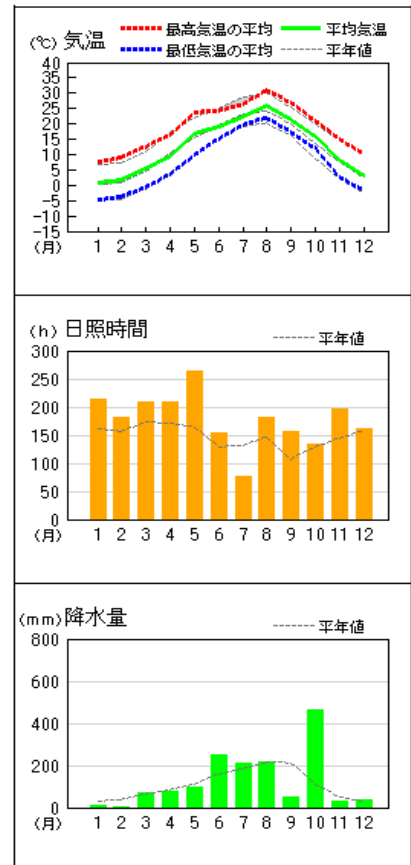
草津



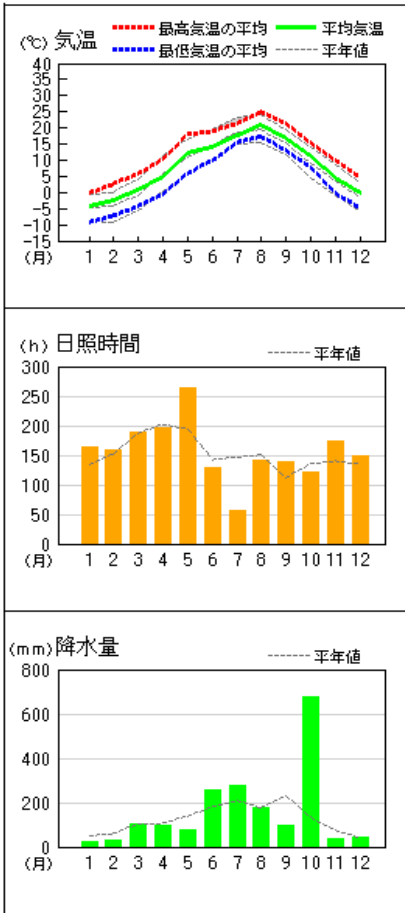
沼田



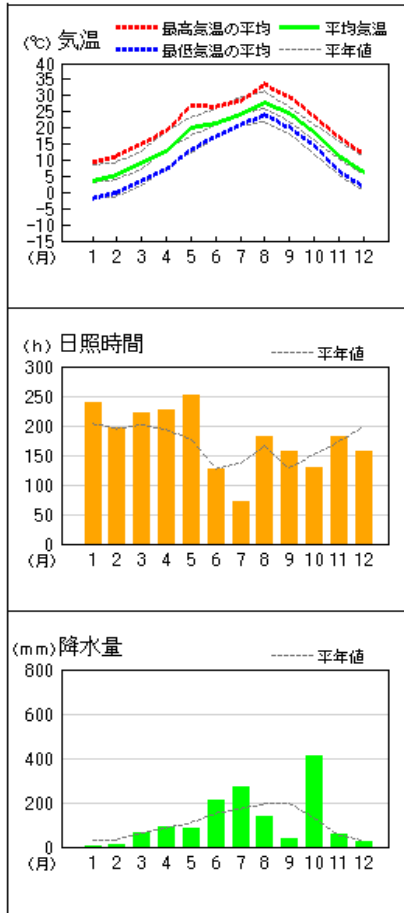
中之条



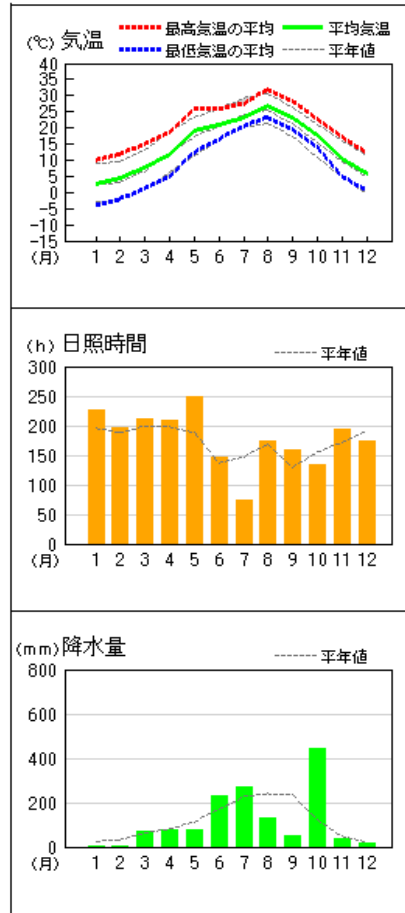
田代



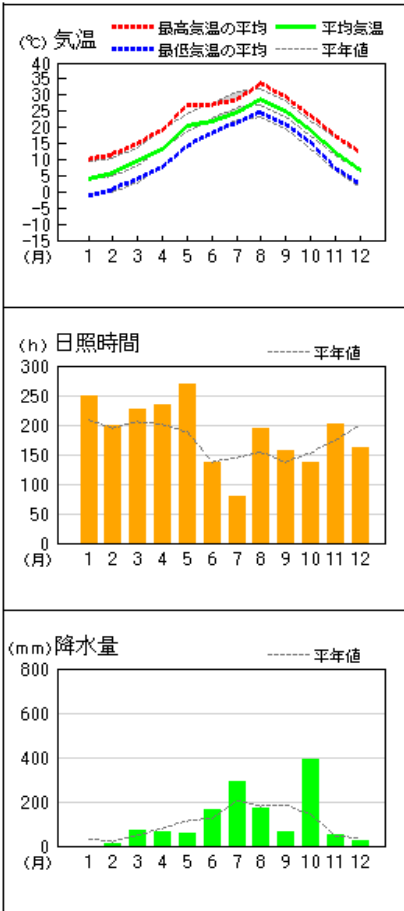
桐生



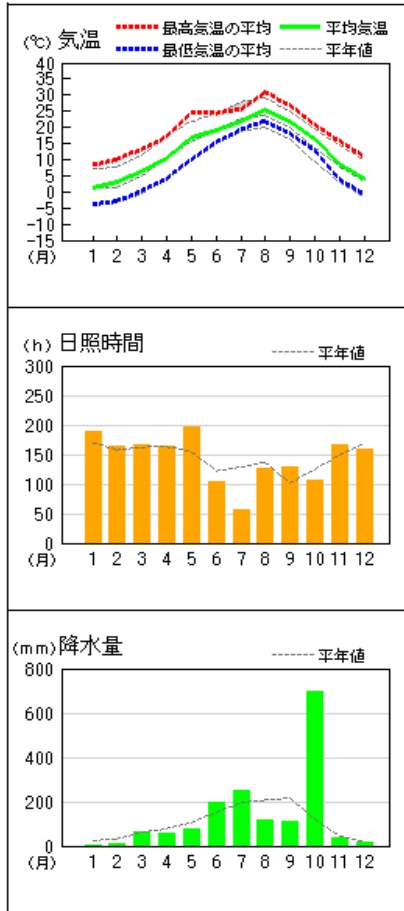
上里見



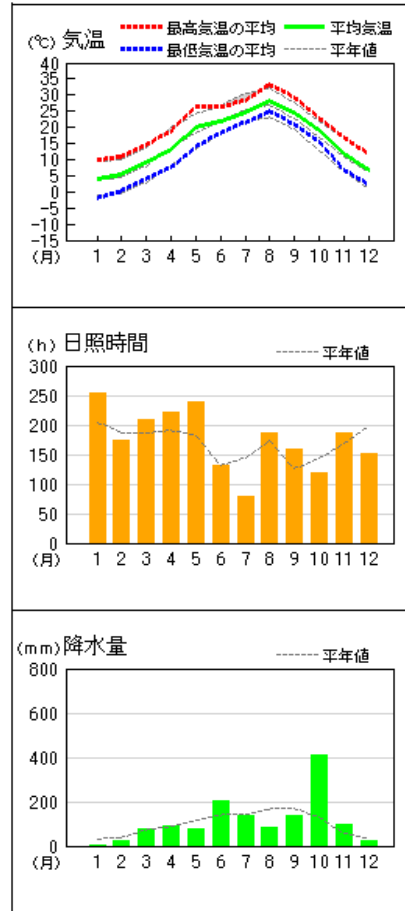
伊勢崎



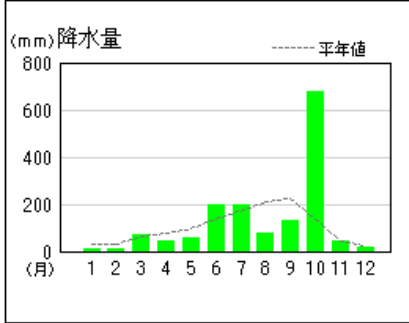
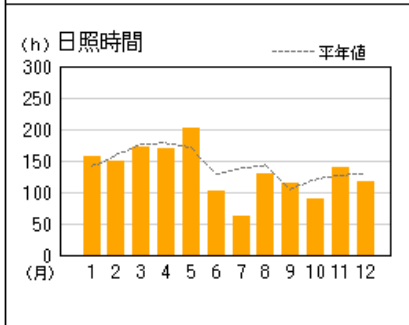
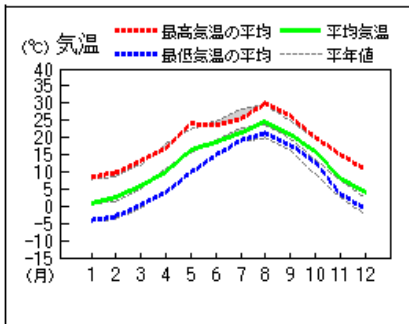
西野牧



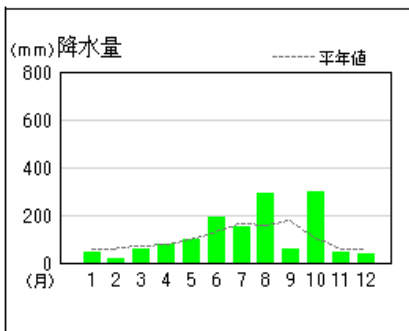
館林



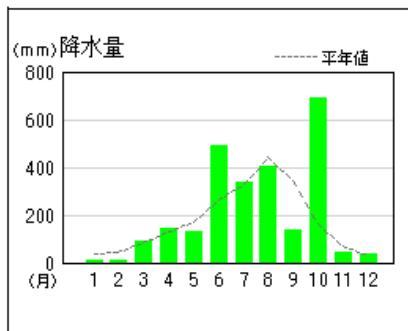
神流



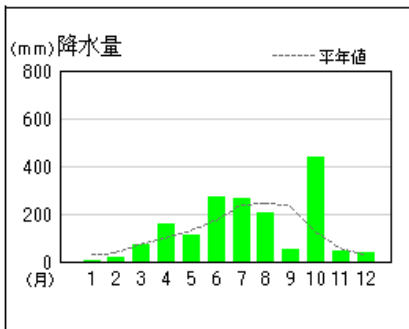
片品



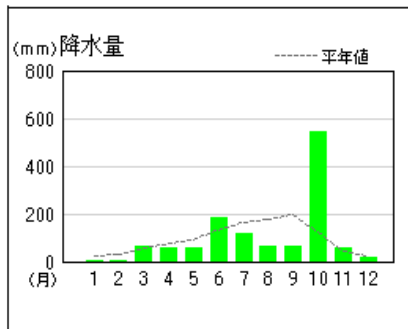
榛名山



黒保根



藤岡



前橋の生物季節観測表

観測種目	月 日	平年値	階級区分	統計期間
すいせんの開花日	1 月 4 日	1 月 12 日	早い	1953～
つばきの開花日	—	1 月 15 日	—	1953～
うめの開花日	—	2 月 10 日	—	1953～
ひばりの初鳴日	—	2 月 16 日	—	1953～
うぐいすの初鳴日	3 月 18 日	3 月 5 日	遅い	1953～
たんぽぽの開花日	3 月 25 日	3 月 17 日	遅い	1953～
さくらの開花日	3 月 27 日	3 月 31 日	早い	1953～
つばめの初見日	4 月 3 日	3 月 31 日	平年並	1953～
すみれの開花日	4 月 4 日	3 月 29 日	遅い	1953～
からまつの発芽日	—	3 月 30 日	—	1953～
さくらの満開日	4 月 7 日	4 月 6 日	平年並	1953～
いちょうの発芽日	—	4 月 7 日	—	1953～
もんしろちょうの初見日	4 月 19 日	3 月 28 日	かなり遅い	1953～
しばの発芽日	4 月 23 日	4 月 9 日	かなり遅い	1953～
くわの発芽日	—	4 月 9 日	—	1953～
やまぶきの開花日	—	4 月 18 日	—	1964～
しろつめくさの開花日	4 月 23 日	4 月 22 日	平年並	1964～
やまつつじの開花日	—	4 月 23 日	—	1953～
のだふじの開花日	—	4 月 26 日	—	1953～
きあげはの初見日	—	4 月 28 日	—	1953～
かきの開花日	—	5 月 22 日	—	1953～
あじさいの開花日	—	6 月 18 日	—	1979～
しおからとんぼの初見日	7 月 26 日	7 月 22 日	平年並	1965～
さるすべりの開花日	—	7 月 27 日	—	1955～
ひぐらしの初鳴日	—	7 月 28 日	—	1953～
あぶらぜみの初鳴日	8 月 2 日	8 月 1 日	平年並	1953～
みんなみんぜみの初鳴日	8 月 2 日	8 月 7 日	早い	1953～
えんまこおろぎの初鳴日	8 月 16 日	8 月 15 日	平年並	1953～
すすきの開花日	8 月 22 日	9 月 3 日	早い	1953～
つくつくほうしの初鳴日	8 月 27 日	8 月 10 日	かなり遅い	1953～
やまはぎの開花日	—	8 月 16 日	—	1953～
あきあかねの初見日	9 月 12 日	9 月 10 日	平年並	1953～
ひがんばんの開花日	9 月 25 日	9 月 13 日	かなり遅い	1964～
もずの初鳴日	—	10 月 8 日	—	1953～

観測種目	月 日	平年値	階級区分	統計期間
さざんかの開花日	—	10 月 16 日	—	1964～
いちょうの黄葉日	—	11 月 23 日	—	1953～
かえでの紅葉日	—	12 月 5 日	—	1953～
いちょうの落葉日	—	12 月 6 日	—	1953～
くわの落葉日	—	12 月 9 日	—	1953～
かえでの落葉日	—	12 月 19 日	—	1953～

平年は、1981 年～2010 年の平均値。

前橋地方気象台では 2015 年の庁舎移転（前橋市昭和町→前橋市大手町）に伴い、いちょうやかえでなどの標本木を移植しました。2016 年から経過を観察しており、「観測なし」としています。

前橋の極値順位更新表 (第3位まで)

年として

要素名	順位	値	起日	統計期間
年平均気温の高い方から (°C)	2	15.7	2019 年	1896 年～
月最大 24 時間降水量 (mm)	3	234.0	10 月 12 日	1912 年～
日降水量 (mm)	3	233.5	10 月 12 日	1896 年 12 月～
日最高気温 25°C 以上年間日数 (日)	2	136	2019 年	1896 年～
日最低気温 25°C 以上年間日数 (日)	3	22	2019 年	1896 年～
日最低気温の高い方から (°C)	2	27.5	8 月 3 日	1896 年 12 月～

1 月として

極値順位更新なし

2 月として

極値順位更新なし

3 月として

極値順位更新なし

4 月として

極値順位更新なし

5 月として

要素名	順位	値	起日	統計期間
日最低気温の高い方から (°C)	1	22.0	28 日	1897 年 5 月～
日最低気温の高い方から (°C)	2	21.6	27 日	1897 年 5 月～
日最高気温の高い方から (°C)	3	35.0	27 日	1897 年 5 月～
月平均気温の高い方から (°C)	2	20.2	5 月	1897 年 5 月～
月間日照時間の多い方から (h)	1	263.1	5 月	1897 年 5 月～

6 月として

極値順位更新なし

7 月として

極値順位更新なし

8 月として

要素名	順位	値	起日	統計期間
日最低気温の高い方から (°C)	1	27.5	3 日	1897 年 8 月～
日最高気温の高い方から (°C)	3	38.9	8 日	1897 年 8 月～

9 月として

要素名	順位	値	起日	統計期間
月平均気温の高い方から (°C)	2	24.6	9 月	1897 年 9 月～
日最低気温の高い方から (°C)	2	26.0	8 日	1897 年 9 月～

10 月として

要素名	順位	値	起日	統計期間
日降水量 (mm)	1	233.5	12 日	1897 年 10 月～
月最大 24 時間降水量 (mm)	1	234.0	12 日	1912 年 10 月～
月降水量の多い方から (mm)	1	432.5	10 月	1897 年 10 月～
月平均気温の高い方から (°C)	1	18.9	10 月	1897 年 10 月～
日最大 1 時間降水量 (mm)	2	39.5	12 日	1912 年 10 月～
日最大 10 分間降水量 (mm)	2	10.0	12 日	1937 年 10 月～

11 月として

要素名	順位	値	起日	統計期間
日最高気温の高い方から (°C)	2	25.9	1 日	1897 年 11 月～

12 月として

極値順位更新なし

前橋の季節観測表

◇梅雨

項目	平成 31 年・令和元年 (2019 年)	平成 30 年 (2018 年)	平 年
梅雨入り	6 月 7 日ごろ	6 月 6 日ごろ	6 月 8 日ごろ
梅雨明け	7 月 24 日ごろ	6 月 29 日ごろ	7 月 21 日ごろ

平年は、1981年～2010年の平均値。

梅雨入り・明けの時期は、平均的に5日間程度の遷移期間があるため、遷移期間の中日をもって「〇〇日ごろ」と表現しています。

◇季節現象

項目	平成 31 年～令和 2 年 (2019 年～2020 年)	平成 30 年～31 年 (2018 年～2019 年)	平年
霜 (初日)	2020 年 1 月 16 日	2018 年 12 月 11 日	11 月 16 日
結氷 (初日)	2019 年 12 月 9 日	2018 年 12 月 11 日	11 月 19 日
雪 (初日)	2019 年 12 月 9 日	2018 年 12 月 11 日	12 月 10 日

平年は、1981 年～2010 年の平均値。

◇初冠雪

山岳名	標高	平成 31 年～令和 2 年 (2019 年～2020 年)	平成 30 年～31 年 (2018 年～2019 年)	平年
白砂山	2140m	2019 年 11 月 8 日	2018 年 11 月 20 日	10 月 26 日
仙ノ倉山	2026m	2019 年 11 月 8 日	2018 年 11 月 20 日	10 月 26 日
浅間山	2568m	2019 年 11 月 12 日	2018 年 10 月 21 日	10 月 28 日
武尊山	2158m	2019 年 11 月 13 日	2018 年 11 月 20 日	11 月 3 日
赤城山	1828m	2019 年 11 月 20 日	2018 年 12 月 9 日	11 月 21 日
榛名山	1449m	2019 年 12 月 23 日	2018 年 12 月 12 日	12 月 8 日

平年は、1981 年～2010 年の平均値。

群馬県における主な気象災害

5 月 4 日：降ひょう

【気象概況】

関東甲信地方の上空約 5500m で氷点下 21 度以下の、この時期としては強い寒気を伴った気圧の谷が通過し、大気の状態が不安定となりました。このため、群馬県では昼過ぎから夕方にかけて、所々で雷雨や降ひょうとなりました。

【災害概況】

- ・被害発生地域：高崎市、富岡市、甘楽町、下仁田町
- ・被害総額：8 億 4645 万 3 千円
- ・被害面積：419.4 ha
- ・主な被害農作物：ナシ、ウメ、露地ナス、たまねぎ、モモ、スモモ
(令和元年 5 月 29 日 群馬県農政部技術支援課取りまとめ)

【群馬県農業気象災害速報】

令和元年 5 月 4 日の降ひょう害

(令和元年 7 月 2 日 群馬県・前橋地方気象台作成)

https://www.data.jma.go.jp/bsdb/data/files/sg_history/10000/2019/10000_2019_8_8_1.pdf

9 月 10 日：突風（伊勢崎市、邑楽町、館林市）

【気象概況】

暖かく湿った空気と日中の気温上昇により、大気の状態が不安定となり、活発な積乱雲が発生して、館林市、邑楽町及び伊勢崎市で突風が発生しました。

【災害概況】（令和元年 9 月 11 日現在）

邑楽町

- ・人的被害：なし
- ・住家被害：一部損壊 7 軒
- ・非住家被害：全壊 1 軒、半壊 2 軒、一部損壊 8 軒
- ・その他被害：電柱一部破損 1 軒
(情報の入手先：邑楽郡邑楽町安心安全課)

館林市

- ・人的被害：なし
- ・住家被害：一部損壊 1 軒
(情報の入手先：館林市総務部安心安全課)
- ・非住家被害：全壊 1 軒
(気象庁機動調査班 (JMA-MOT) の現地調査による)

伊勢崎市

- ・人的被害：なし
- ・非住家、その他被害：物置のトタン屋根のめくれ 1 棟、車庫や倉庫の屋根の飛散 2 棟、
樹木の枝折れ 1 件
(情報の入手先：伊勢崎市総務部安心安全課)

【現地災害調査報告】

令和元年 9 月 10 日に群馬県邑楽郡邑楽町から館林市にかけて発生した突風について
(令和元年 10 月 18 日 前橋地方気象台作成)

https://www.data.jma.go.jp/bsdb/data/files/sg_history/10000/2019/10000_2019_21_8_1.pdf

令和元年 9 月 10 日に埼玉県深谷市から群馬県伊勢崎市で発生した突風について
(令和元年 12 月 12 日 熊谷地方気象台・前橋地方気象台作成)

https://www.data.jma.go.jp/bsdb/data/files/sg_history/10000/2019/10000_2019_21_8_4.pdf

10 月 12 日から 13 日：令和元年東日本台風（台風第 19 号）

【気象概況】

10 月 6 日に南鳥島近海で発生した台風第 19 号は、マリアナ諸島を西に進みながら、7 日には大型で猛烈な台風となりました。小笠原近海を北北西に進み、12 日には北よりに進路を変え日本の南を北上しました。12 日 19 時前に大型で強い勢力で伊豆半島に上陸した後、関東地方を通り、13 日未明に東北地方の東海上に抜けました。

群馬県内では 10 月 11 日午後から台風からの湿った空気の影響で雨が降り始め、12 日朝からは台風周辺の雨雲の影響で高崎・藤岡地域では激しい雨となりました。12 日昼前からは台風本体の雨雲の影響で県内に非常に激しい雨の降る範囲が広がりました。12 日の日降水量は、下仁田町西野牧で 471mm となったのをはじめ、県内のアメダス 17 地点の内 10 地点で統計開始以来の極値を更新しました。この大雨について、群馬県で初めて大雨特別警報を 26 市町村に発表しました。

また、県内ではやや強い風が吹き、日最大風速は伊勢崎で 14.9m/s（北西、12 日 21 時 53 分）、日最大瞬間風速は草津で 28.9m/s（北、12 日 23 時 30 分）を観測しました。なお、桐生では 12 日の日最大瞬間風速は 22.2m/s（北西、22 時 18 分）で統計開始以来の極値を更新しました。

【災害概況】

- ・人的被害：死者 4 人、重傷 1 人、軽傷 8 人
- ・住家被害：全壊 22 棟、半壊 296 棟、一部破損 572 棟、
床上浸水 22 棟、床下浸水 112 棟
- ・非住家被害：公共建物 3 棟、その他 76 棟
- ・その他被害：田畑流出・埋没 76.99ha、学校被害 11 棟、道路損壊 335 箇所、
橋梁損壊 4 箇所、河川損壊 318 箇所、砂防被害 39 箇所、崖崩れ 21 箇所、
水道 5368 箇所、停電 6,800 戸、土石流 45 箇所、地すべり 1 箇所

(出典：令和 3 年 3 月 群馬県地域防災計画)

【災害時気象報告】

令和元年東日本台風等による 10 月 10 日から 10 月 26 日にかけての大雨・暴風等
(令和 2 年 3 月 31 日 気象庁作成)

https://www.jma.go.jp/jma/kishou/books/saigaiji/saigaiji_2019/saigaiji_202003.pdf

【気象速報（全国版）】

台風第 19 号による大雨、暴風等 令和元年（2019 年）10 月 10 日～10 月 13 日
(気象庁ホームページ)

<https://www.data.jma.go.jp/obd/stats/data/bosai/report/2019/20191012/20191012.html>

【気象速報（関東甲信・北陸・東海地方版）】

令和元年台風第 19 号に関する気象速報

（令和元年 10 月 14 日 東京管区気象台作成）

https://www.data.jma.go.jp/tokyo/shosai/bocho/bosai/disaster/ty1919/ty1919_kanku.pdf

【群馬県気象速報】

令和元年台風第 19 号に関する群馬県気象速報

（令和元年 10 月 17 日 前橋地方気象台作成）

https://www.data.jma.go.jp/bsdb/data/files/sg_history/10000/2019/10000_2019_22_8_4.pdf

【群馬県農業気象災害速報】

令和元年 10 月 11 日～13 日の台風第 19 号による強雨・洪水・浸水害

（令和元年 12 月 24 日 群馬県・前橋地方気象台作成）

https://www.data.jma.go.jp/bsdb/data/files/sg_history/10000/2019/10000_2019_22_8_10.pdf

情報の閲覧・検索のご案内

☆群馬県の気象概況に掲載されていないデータや最新のデータについては、

◎気象庁HP（ホームページ）（<https://www.jma.go.jp/jma/index.html>）をご覧ください。

◎前橋地方気象台HP（<https://www.data.jma.go.jp/maebashi/index.html>）をご覧ください。

◎気象庁HPまたは、前橋地方気象台HPから観測データの検索や取得ができます。

- ・過去の気象データ検索...昨日までの気象観測データを、10分、1 時間、日、半旬、旬、月、3 か月、年等の単位で検索できます。平年値や観測史上1 ～10 位の値等も検索できます。

（<https://www.data.jma.go.jp/stats/etrn/index.php>）

- ・群馬県の防災情報…現在発表されている警報・注意報や天気予報などが閲覧できます。

（https://www.jma.go.jp/bosai/#area_type=offices&area_code=100000&pattern=default）

- ・過去の特別警報・警報・注意報…群馬県の過去1 年分発表されている情報が閲覧できます。

（<https://www.data.jma.go.jp/maebashi/kankoubutsu/tyukeihou.html>）

- ・突風や大雨、台風等で災害があった際の気象状況を取りまとめた気象速報を閲覧できます。

（<https://www.data.jma.go.jp/maebashi/kankoubutsu/sokuho.html>）

- ・1 か月予報、3 か月予報など、現在発表されている季節予報を閲覧できます。

（https://www.jma.go.jp/bosai/season/#area_type=offices&area_code=100000&term=1month）

- ・日々の天気図…過去の天気図を閲覧できます。

（<https://www.data.jma.go.jp/yoho/hibiten/index.html>）

- ・台風経路図…過去の台風の経路の資料を検索できます。

（https://www.data.jma.go.jp/yoho/typhoon/route_map/index.html）

- ・過去の気象データ・ダウンロード...昨日までの気象観測データから、複数地点の複数項目を、数日間の平均・合計値の集計や平年値や最近の数年間平均値と比較することができます。データはCSV ファイルとしてダウンロードできますので、簡便に市販の表計算ソフトに取り込むことができます。

（<https://www.data.jma.go.jp/risk/obsdl/index.php>）

- ・天候の状況...低温・少雨・日照不足などの状況を、全国各地の気温・降水量・日照時間の5 日以上の平均（合計）値やその平年差・平年比でも検索できます。

（<https://www.data.jma.go.jp/stats/data/mdrr/tenkou/indexTenkouTem5dhi.html>）

- ・気候リスク管理...2 週目以降の気温の予測資料の検索や、1か月予報や早期天候情報に用いる気温予測データ（ガイダンス）をCSV 形式で取得できます。

（<https://www.data.jma.go.jp/risk/>）

- ・地球環境・気候…異常気象、最近の天候、地球温暖化に関するリンクがまとめられています。

（<https://www.data.jma.go.jp/cpdinfo/menu/index.html>）

- ・生物季節観測の情報…さくらの開花やかえでの紅葉などの生物季節観測の情報が閲覧できます。

（<https://www.data.jma.go.jp/sakura/data/index.html>）

- ・過去の災害をもたらした台風・大雨・地震・火山噴火等の自然現象のとりまとめ資料…暴風・豪雨・地震等の自然現象による災害が発生した場合に、災害を引き起こした現象や気象庁のとった措置等の概要を取り纏めた災害時自然現象報告書を閲覧できます。

（https://www.jma.go.jp/jma/kishou/now/saigai_link.html）

資料の見方

【前橋地方気象台気象表】

平均気温（℃）：年平均気温は月平均気温の期間平均値。月平均気温は日平均気温の期間平均値。日平均気温は1日の毎正時（1時～24時、日本標準時、以下同様）の気温（24回）の平均値。平年差は平年値（1981～2010年の資料から求めた値）との差（℃）。

降水量（mm）：年降水量は月降水量の期間合計値。月降水量は日降水量の期間合計値。日降水量は1日の降水量の合計値。平年比は平年値に対する比（％）。

日照時間（h）：年日照時間は月日照時間の期間合計値。月日照時間は日日照時間の期間合計値。日の日照時間は1日の日照時間の合計値。平年比は平年値に対する比（％）。

階級：階級区分については以下のとおり。

高い（多い）、平年並、低い（少ない）

各階級は、1981～2010年における30年間の観測値（30個）をもとに、これらが等しい割合で各階級に振り分けられる（各階級が10個ずつになる）ように決めた。また、値が1981～2010年の観測値の上位または下位10%に相当する場合には、以下のとおり表現する。

かなり高い（かなり多い）、かなり低い（かなり少ない）

【統計値欄の記号】

）：準正常値。統計に用いる観測資料に欠測等が含まれているが、通常のものと同様に扱うことができる値。

］：資料不足値。統計に用いる観測資料数が不足しているため、利用に当たっては注意が必要な値。

×：資料なし(欠測)。統計を求める期間内の観測結果がすべて求められなかった場合。

//：観測機器移転等により観測資料年数が少ないため、平年値を求めていない場合。

（空欄）：統計を求める期間に観測を行っていない場合。

【観測所】

観測所の配置及び観測種目、所在地等の情報は下記ページに掲載する「観測所一覧」をご覧ください。

気象庁ホームページ 地域気象観測システム（アメダス）

<https://www.jma.go.jp/jma/kishou/known/amedas/kaisetsu.html>

—利用上の注意—

この資料は速報値です。後日、内容の訂正・追加を行うことがあります。

◎ 前橋地方気象台 2021

本資料は、前橋地方気象台ホームページの利用規約（下記URL）に準拠します。

<https://www.data.jma.go.jp/maebashi/oshirase/cyuu.html>

群馬県の気象概況 平成 31 年・令和元年（2019 年） 令和 2 年 3 月発行 編集 前橋地方気象台 発行 前橋地方気象台 前橋市大手町 2-3-1 前橋地方合同庁舎 電話 027-896-1220
